

教材名	おはなしなあに ～「気持ちマーク」を使って～	紹介者	矢作南小
-----	---------------------------	-----	------

●「気持ちマーク」



①にこちゃん ②こまったちゃん ③びっくりくん
④しくしくちゃん ⑤ぷんぷんくん⑥がんばるくん

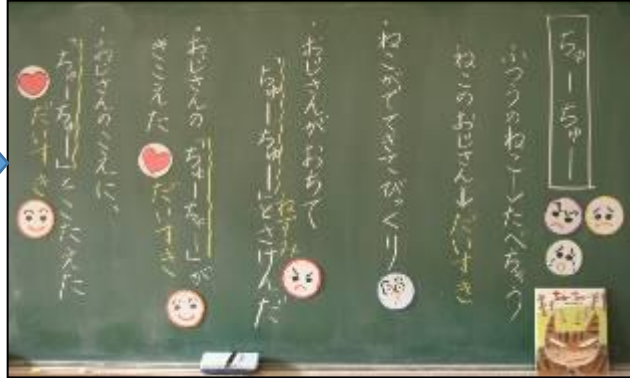
③感想を書く



①絵本の読み聞かせ



②「気持ちマーク」を使って、気持ちの変化を読み取る



教材の紹介

- ・登場人物の様子や気持ちを考えるときに、「気持ちマーク」の表情を見比べることで、ぴったり合うものを簡単に選択することができる。また、選んだ理由も話しやすい。
- ・場面ごとに登場人物の「気持ちマーク」を貼っていくと、気持ちの変化が分かりやすくなる。

製作・
入手方法等

- ・厚紙を丸く切り抜き、顔の表情を描く。マグネットシートを付けて、黒板に貼ることができるようにする。

子どもの
反応等

最初、「にこちゃん」と「こまったちゃん」から始まった。読み聞かせをする中で、「びっくりしているよ。」「悲しくて泣いているよ。」などの反応があり、「気持ちマーク」の種類が増えていった。読み聞かせ後、お気に入りの場面を発表してから登場人物の気持ちを考えるときに、まとめの感想を書くときに「気持ちマーク」を使っている。言葉で表現することが苦手な子も、「気持ちマーク」を選んで表現することを楽しむことができるようになった。また、自分と違うマークを選んでいる子がいると、「違うよ。にこちゃんだよ。」と、伝えることもできるようになってきた。